

● 移住交流支援センターだより ●

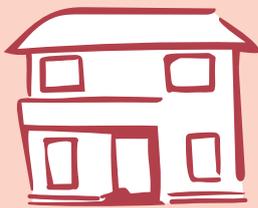
相續登記にご協力ください

お家、土地の相續登記はお済みでしょうか？センターでは、相續や契約上でのトラブルを未然に防ぐためにも、早めの相續登記をお願いしています。いざ空き家・空き地の売買をしようとしても、相續登記ができていない物件は、売上の登記をすることができません。相續登記を済ませない間に、もし相續人のどなたかがお亡くなりになると、その配偶者や子に相續の権利が移り、手続きがより煩雑になることもあります。空き家の相續登記については、センターでも相談を受付けております。お気軽にご相談ください。

新規移住相談件数

10月…10件

11月…5件



今月のインタビュー



阿野地ノ平在住

藤本 博久 大阪府出身
東條 由佳 福岡県出身

神山しずくプロジェクトで木工ろくろ職人として修行中の藤本さん、同プロジェクトで働きながら、アーティストとしても活動している東條さんをご紹介します。

〈移住のきっかけ〉

藤本 芸術大学で家具やプロダクトデザインについて学んだあと、アーティストの手伝いをしながら、いろんなものづくりの現場で働き、自分のやりたいことを探していました。木工ろくろの道を選んだのは、無垢の木を扱って、ものを作るための道具から自分で作る点に魅かれたからです。長野や北海道などのろくろ産地も見学して回りましたが、あえて加工が難しい杉材に挑戦したくて、しずくプロジェクトの職人見習いとして神山に来ました。

伊藤・林が
お届けします。



☎676-1177
IP: 2028

東條 私も彼と同じアーティストの手伝いをしていました。芸術大学に入学してから7年ほど京都で暮らし、個人の作家としても作品制作をしていたのですが、この機会に環境を変えてみようと思い、一緒に神山に来ることにしました。

〈しずくプロジェクトでの仕事〉

藤本 しずくの製造を引き受けてくれた市内の職人さんの工房で1年ほど修行し、今は上角にある木工所「しずくラボ」で、自分でも製品を削り出しています。また杉の伐採から、製材、乾燥までの作業は、町内の製材所さんや社内スタッフと協力して行います。木という生きた素材を加工する難しさを実感し、神山で育った貴重な木を加工させてもらう事に感謝しながら、日々修行に励んでいます。

東條 販売と広報、そして杉のエッセンシャルオイルの製造を担当しています。オイルをたくさん抽出できるよう、あえて夏に伐採した杉で、特に赤身が多いものを利用する



のが特徴です。材料を調達したら、2〜3週間は集中して蒸留作業に取り組みます。

〈アーティスト活動について〉

東條 大学の途中までは油絵を描いていました。今は主にアクリル絵具やペンで描いた平面作品を制作し、服のしわをモチーフにした作品が多いです。移住した当初は新しい暮らしに慣れるのに必死で、集中して絵を描くことができませんでした。最近は生活のリズムも掴めてきて、昨年10月に町内で初めての個展を開催することができました。

〈今後の抱負〉

東條 アーティスト活動にも一層力を入れていきたいと思っています。今は制作スペースが限られているので、町内で倉庫などを借りられたら、自分たちのアトリエ兼工房を持ちたいです。

藤本 木工ろくろの技術のさらなる向上に努めたいです。町内ではいろんな人と知り合っていて、神山の昔の話や、山の自然、山での生活の楽しみ方などを教えてもらえたら嬉しいです。



10月の個展の様子